学校番号	２１３

平成 31 年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「Joy of Music」　（教育芸術社）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歌唱では斉唱、混声合唱に取り組みます。
・器楽ではギター、リコーダーの実技実習を中心に取り組みます。
　ギターでは基本的なコードや簡単な楽曲の弾き歌いができるよう課題に取り組みます。
　リコーダーはアルトリコーダーによる、独奏、アンサンブルの課題に取り組みます。
・評価にあたっては課題への取組み状況、出席状況、ワークシート等の記入内容等も重視します。
　また、実技課題については音楽経験の有無に左右されないよう、形成的評価（現在のレベルから努力して上達した部分を評価する）で評価します。

2　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に取り組もうとする。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	・授業態度 ・学習の取り組み状況（観察・聴取） ・ワークシート、レポート等、学習プリントの作成状況	・学習の取り組み状況（観察・聴取） ・ワークシートの記入内容 ・実技課題	・学習の取り組み状況 ・実技課題	・ワークシート、レポート等の記入内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	歌唱表現の工夫	様々に歌唱曲に親しむとともに、基本的な発声を身につける。 ・ふるさと ・卒業写真	○	○	○		a:歌唱活動に関心を持ち、意欲的に歌唱にとりくもうとしている。 b:音程、リズム、テンポ、表情等を把握し、しっかりとした発声で，より楽しく歌唱する表現の工夫をしている。 c:しっかりとした発声と、楽譜に書かれた情報を把握し表現する技能を身に付けている。	観察 聴取 実技テスト
	混声四部合唱の響き	合唱活動に関心をもち、歌詞の内容と音楽を形作っている要素のかかわりについて理解し、音楽表現を工夫して合唱をする。	○	○	○		a:混声四部合唱の特徴に関心をもち、それらの演奏効果を生かして歌うことに主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を構成する要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを理解しながら、曲想を歌詞のないように　かかわらせてイメージを持って音楽表現を工夫し、どのように合わせるか表現意図をもっている。 c:曲想を歌詞の内容とかかわらせて理解し、イメージを持って声を合わせるために必要な歌唱の技能を身に付けている。	観察 実技テスト 振り返りシート
	弾き語りに挑戦	ギターの音色や奏法の特徴と表現上の効果とのかかわりを理解し、曲想にあった音楽表現を工夫する。	○		○		a:ギターの音色や奏法に関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 c:楽器の音色や奏法の特徴を生かした音楽表現をするための技能を身に付けている。	観察 課題テスト 振り返りシート
2学期	混声四部合唱の響きⅡ	合唱活動に関心をもち、歌詞の内容と音楽を形作っている要素のかかわりについて理解し、音楽表現を工夫して合唱をする。 ・大地賛頌	○	○	○		a:混声四部合唱の特徴に関心をもち、それらの演奏効果を生かして歌うことに主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を構成する要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを理解しながら、曲想を歌詞のないように　かかわらせてイメージを持って音楽表現を工夫し、どのように合わせるか表現意図をもっている。 c:曲想を歌詞の内容とかかわらせて理解し、イメージを持って声を合わせるために必要な歌唱の技能を身に付けている。	観察 実技テスト 振り返りシート

	舞台芸術～オペラ『トゥーランドット』を味わう～	舞台芸術～オペラ『トゥーランドット』を味わう～	○			○	a:オペラの特徴を理解し、それらの文化的・歴史的背景や作曲家に関心をもち、楽曲の構造や特徴を把握して、その音楽が醸し出す美しさや豊かさ、味わいなどと結びつけて鑑賞することに主体的に取り組もうとしている。 d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特徴を理解しながら、楽曲の構造や特徴と、その音楽が醸し出す美しさや豊かさ、味わいなどと結びつけて考え、主体的、創造的に聴いている。	観察 ワークシート
	様々な表現形態を生かした合奏をしよう！	様々な表現形態による楽曲を選択し、リコーダー、ギター、キーボードの音色や奏法の特長を生かして、個性豊かにアンサンブルする。	○	○	○		a:様々な楽器の音色や奏法の特徴と表現上の効果とのかかわりを理解し、それらを生かして演奏することに関心をもって、グループ・アンサンブルに主体的に取り組もうとしている。 b:様々な楽器の音色や速度、テクスチュア、形式，構成を知覚し、それらの働きが生み出す特徴を理解しながら、様々な表現形態の特徴を生かして表現を工夫し、どのように演奏するか表現意図をもっている。 c:グループで効果的にアンサンブルを行う方法や，リコーダー、ギター、キーボードの音色や奏法の特徴を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、個性豊かに表している。	観察 発表
3学期	ファイナルコンサートを開こう！	個人、グループで選んだ楽曲や創作した楽曲を発表し、音楽のよさや楽しさを味わって生涯にわたり音楽を愛好していく姿勢を養う。	○	○	○		a:グループで選曲、または創作した楽曲の特徴、楽器の音色や奏法などを生かして、表現することに主体的に取り組もうとし、演奏発表会の企画・演出・運営をすることに意欲的である。 b:グループで選曲、または創作した楽曲の特徴、楽器の音色や奏法などを生かして、音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、また創作するか表現意図をもっている。 c:創意工夫をした音楽表現をするために、必要な歌唱や楽器、創作の技能を身につけ、個性豊かに表している。	観察 発表

	卒業式に向けて	卒業式に向け校歌、愛唱歌のよさを再確認する	○	○	○		a:歌唱活動に関心を持ち、意欲的に歌唱にとりくもうとしている。 b:音程、リズム、テンポ、表情等を把握し、しっかりとした発声で、より楽しく歌唱する表現の工夫をしている。 c:しっかりとした発声と、楽譜に書かれた情報を把握し表現する技能を身に付けている。	観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　　d: 鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。